

2023年度 千葉支部理事会議案書

2023年5月17日(水)
ホテルニューオータニ幕張



(公財) 日本電信電話ユーザ協会
千 葉 支 部

第一号議案	2022年度事業活動報告について
第二号議案	2022年度収支報告について
第三号議案	2022年度会計監査報告について
第四号議案	2023年度事業計画(案)について
第五号議案	2023年度収支予算(案)について
第六号議案	2023年度役員等について

注)本議案書に掲載しております「個人名・事業所名」につきましては、“順不同・敬称略”
とさせていただきます。

日本電信電話ユーザ協会は、公益財団法人としての2大事業である「テレコミュニケーション教育事業」及び「ICT活用推進事業」等の普及拡大に向け、各種施策や会員サービスの充実等に取り組んでいます。

1. テレコミュニケーション教育事業

【1-1】電話対応コンクール：研修～県大会

各企業・団体等の社員の電話応対と応対技能のレベルアップを通じて、顧客満足経営の推進を図るための人材育成を目的として毎年実施しています。参加者は、毎年設定される競技問題に取り組み、電話対応サービスの技能を競い合います。2022年度は「聴く力、伝える力を磨き、応対力アップ」をテーマに、外出中の担当者を指名する電話受付、外出中の担当者からの問い合わせ対応、という設定で行われました。

千葉県大会は、4月の課題発表以降、5月～7月問題解説研修、5月～6月スクリプト作成研修、6月収録直前研修、8月地区審査会、9月県大会前研修、10月県大会と、長期間にわたって取り組みを行いました。

県大会は、2019年以来、観戦者を迎え入れ安全に実施することができました。

地区審査への参加者は80名(前年比28名減)と、コロナ禍による参加見合わせ・縮小の影響が継続しました。

実施項目	実施概要	参加者数()内は事業所数			
		2019	2020	2021	2022
研 修	(1)問題解説研修 (5/7～7/29)YouTube視聴	4回 157名(43)	WEB 128名(39)	WEB 82名(34)	WEB 72名(30)
	(2)スクリプト研修 (5/24、27、6/3)	-	-	3回 66名(19)	3回 50名(30)
	(3)地区大会前の直前研修 (6/22～6/29)	13回 145名(51)	13回 120名(41)	13回 99名(30)	8回 83名(24)
	(4)県大会前特別研修 (9/12、13、15、16)	5回 51名(27)	5回 30名(20)	5回 31名(19)	4回 30名(12)
	(5)全国大会前特別研修	-	-	1回 3名(1)	3回 6名(1)
	合 計 ※(1)研修は除く	18回 196名(78)	18回 150名(61)	22回 199名(69)	18回 169名(67)
地区 審査	音声収録方式により実施 (8/4～7)	149名(47)	121名(42)	108名(36)	80名(24)
県大会	事前収録した音源に基づき審査	51名(30)	30名(20)	31名(19)	30名(12)
全国 大会	第61回大会(山口県山口市)に参加	1名	1名	1名	1名

【1-2】電話対応コンクール：千葉県大会結果

県大会は、初出場の小倉輝大様(株式会社千葉興業銀行)が優勝、千葉県代表として全国大会に出場、千葉県勢では3年ぶりの入賞を果たしました。県大会優勝者には県知事賞が授与されます。

県大会後援の株式会社ドコモCS千葉支店様よりドコモ賞の提供がありました。

入賞	事業所名	出場者名
優勝	株式会社 千葉興業銀行	小倉 輝大

入賞	事業所名	出場者名
準優勝	NTT東日本-南関東テクニカルサービスセンタ	吉川 淳子

入賞	事業所名	出場者名
優秀賞	株式会社 バルーナコミュニケーションズ	下原 里香
優秀賞	株式会社 バルーナコミュニケーションズ	武田 利英子
優秀賞	株式会社 バルーナコミュニケーションズ	穴倉 小奈恵
優秀賞	株式会社 バルーナコミュニケーションズ	布能 由美子
優秀賞	株式会社 バルーナコミュニケーションズ	森田 美也
優秀賞	アート引越センター 株式会社	若林 愛奈
優秀賞	株式会社 バルーナコミュニケーションズ	満田 美沙
優秀賞	NTT東日本-南関東テクニカルサービスセンタ	佐藤 昌代

入賞	事業所名	出場者名
新人賞	NTT東日本-南関東テクニカルサービスセンタ	門間 絢子



1. テレコミュニケーション教育事業

【2】企業電話対応コンテスト

エントリーいただいた事業所様に、専門スタッフが仮のお客さまとなって予告なしに電話をかけ、その電話対応を複数の専門家が客観的に数値化し評価、優秀企業を表彰します。また、結果から「報告書」として改善のアドバイスをフィードバックしますので、企業における電話対応サービスの向上、CS(顧客満足)経営の指針としてご活用いただけます。

2022年第25回企業電話対応コンテストでは、千葉からはキャノンカスタマーサポート株式会社様がエントリーされ優秀賞を受賞されました

【3】電話対応技能検定取り組み状況

電話対応のエキスパートとして即戦力になり得る社内指導者の育成を目的とした検定制度で、支部では4級受検者の受入れを行っています。

2022年度は、開催数拡大(4回⇒6回)の取組みにより、受検者は20名、前年比約3倍となりました

〔検定4級受検者数〕

	2020年度	2021年度	2022年度
千葉	9名	7名	20名

【4】ビジネスマナー等研修参加状況

企業人・社会人としての心構え、ビジネスマンとしての接客・言葉使い、電話対応における基礎力向上、お客様からのクレームに対する対応スキルの向上を目的とした各種研修等を実施しました。

場所、移動時間等の制約を受けないリモート・オンライン研修の定着化で、受講者204名、前年比31名の増加となりました。一方、集合・対面による研修ニーズも顕在化しているため、2023年度はリモート・オンライン、集合、ハイブリッドの利点を活かしながら、研修事業の企画検討を行っていきます。

区分	研修項目 ①以外はZoom	実施概要	実施回数、参加者数()内は事業所数			
			2019	2020	2021	2022
継続	①フレッシュマン(YouTube録画視聴)	新人社員向けセミナー	4回 114名(43)	WEB 192名(39)	WEB 184名(51)	WEB 119名(54)
	②ビジネスマナー6/8	マナーの習得、名刺交換、美しいお辞儀、 感じのよい挨拶	9回 221名(62)	1回 11名(9)	1回 21名(12)	1回 22名(13)
	③クレーム電話対応6/5、11/10	クレーム心構え、クレーム対応の言葉使い、グループ ワーク	5回 116名(60)	1回 24名(9)	2回 51名(23)	2回 51名(23)
	④リーダースキップ 指導力強化7/14、12/9	中堅社員、もしくは指導者 としての能力と自発性を引き出すコーチング	3回 70名(34)	1回 17名(8)	2回 42名(19)	2回 34名(20)
	⑤ビジネスコミュニケーション 12/15、1/18	職場を居心地よくするためのビジネスコ ミュニケーションスキルの習得	2回 44名(20)	-	2回 34名(27)	2回 33名(20)
	⑥アンガーマネジメント9/9	怒り、イライラを自らコントロールして快適 な生活・仕事を行っていく	2回 50名(28)	-	-	1回 24名(11)
	⑦アサーティブ1/12、13	互いを尊重した上で、自分の要望や意見を 相手に伝える等	1回 22名 (12)	0回 0名(0)	2回 25名 (19)	2回 24名 (17)
新規	⑧ベッツトーク研修1/30、2/7	新人向け:「自分の言葉が職場環境を整える」 リーダ向け:「部下のやる気を引き出す言葉がけ」	-	-	-	2回 16名 (8)
合 計 (①研修除く)			25回 573名 (228)	3回 52名 (26)	9回 173名 (100)	12回 204名 (112)

2. ICT活用推進事業について

【1】ICT・経営トップセミナー等実施状況

新春セミナーについては、4年ぶりに来場とオンラインにより開催しました。来場者57名、オンライン120名の皆様にご参加いただきました。

事業項目	実施概要	参加者数()内は事業所数				2022年度振返り等
		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
支部	2023年2月15日 「新春セミナー&交流会」 ホテル ザ・マンハッタン 第一部 講師 齊藤公明氏 「AI時代にどう生きるか」 第二部 講師 廣瀬俊朗氏 「ラグビー日本代表から学ぶ」 「交流会」 講演:神田山緑 江戸太神楽:若仙・鈴仙	集合 77 (31)	オンライン 65 (39)	オンライン 128 (78)	集合 57 オンライン 120	■来場+オンラインによるセミナー開催 ・3年ぶりに来場を行うとともにオンライン配信 ・コロナ感染対策を徹底、安全に遂行 ・セミナー終了後、交流会 ・講演の幕間を活用、協会紹介PR動画 ■参加実績 目標:200名(来場50名、オンライン150名) 実績:177名(来場57名、オンライン:120名) ■参加者の声 ・ICTセミナー:わかりやすかった、大変参考になった ・講演者が新鮮だった。ラグビーはタイムリー ・来場は臨場感味わえて良かった ・質問時間が欲しかった ・会員交流欲しい
協賛	2023年1月24日 「新春講演会」 講師 杉村太蔵氏 銚子商工会議所共催	150	150	中止	164	■銚子商工会議所にて、主に銚子市民を集め開催 ■来場参加者164名



【講演模様】「ラグビー日本代表から学ぶ」 廣瀬 俊朗(元ラグビー日本代表主将)

2. ICT活用推進事業について

【2】全国各支部のオンラインセミナーの提供

コロナ禍以降、全国各支部のセミナーもオンライン・リモート化が進みました。オンラインの特性を活かして、各支部間で相互に乗り視聴を行いました。

千葉支部では、全国各支部のセミナー計14回を紹介、235名の方にご視聴いただきました。

項番	主催元	講演テーマ	講師等	開催日時	千葉
5月	近畿・東海・東京	大前 研一さんに「"第四波"に向けた国家戦略」を学ぼう	第1部 大前研一氏(株式会社ビジネス・ブレークスルー) 第2部 NTT-BS 玉城 匠氏	2022/5/31	12
6月	本部	日本企業におけるDXの活用、推進による課題解決について	第1部 株式会社 DXパートナー 近藤部長 第2部 株式会社KaizenPlatform 須藤代表取締役	2022/6/24	28
7月	関東・東京	オール東京・関東オンラインセミナー「ウィメンズプレミアムセッション」	ドコモビジネスソリューションズ 西野えりな氏 社国際SDGs推進協会会長 川端ゆりか氏 信州大学特任教授・法学博士・NY州弁護士 山口真由氏	2022/7/20	69
8月	近畿・東海・東京	ICTセミナー8/31 シニアエコノミー～大前さんに「シニアビジネスの発想法」を学ぼう	第1部 大前研一氏(株式会社ビジネス・ブレークスルー) 第2部 NTT-BS 久米田暁徳氏	2022/8/31	23
10月	本部・東京	サイバー攻撃の脅威とセキュリティ対策の重要性とポイントについて	第1部 警視庁サイバーセキュリティ対策本部 第2部 株式会社ブロードテック代表取締役社長 大家一氏	2022/10/28	10
11月	近畿・東海・東京	サイバーセキュリティ対策講座	第1部 警視庁サイバーセキュリティ対策本部 第2部 川畑文雄氏(ユーザ協会 近畿事業推進部長)	2022/11/29	5
11月	本部	ロボット技術・ビックデータを活用したデータサイエンスが創る未来の社会について	第1部 滋賀大学データサイエンス学部 深谷良治(教授) 第2部 千葉工業大学未来ロボット技術研究センター 古田貴之所長	2022/11/30	12
12月	中国	第1部 DX推進とSDGs(持続可能な社会) 第2部 強い自分を創る逆転の発想～逆境こそバクトルを上へ伸ばすチャンス！～	第1部 NTTコミュニケーションズ(株) 担当部長 細谷英介氏 第2部 明治大学 文学部 齋藤孝氏(教授)	2022/12/8	11
1月	近畿・東海・東京	<新春特別企画>あの大前さんに「2023年の経済見通し」を学ぼう	大前研一氏(株式会社ビジネス・ブレークスルー) 丹羽 亮介氏(マインドシーズSG代表取締役社長)	2023/1/12	26
1月	関東(群馬)	ICTオンラインミセナー	第1部 日本マイクロソフト株式会社 西脇資哲氏 第2部 ユニテックス株式会社 高橋優亮氏	2023/1/19	5
2月	関東(群馬)	春のオンライン講演会	フリーアナウンサー 福澤朗氏	2023/2/8	10
2月	信越(長野)	ICT経営実践セミナー	第1部 NTT東日本長野支店 棚橋裕弥氏 第2部 瀬古利彦氏	2023/2/14	5
2月	東北	DX推進セミナー ～DX活用と地域創生～	第1部 NTTDXパートナー代表取締役 長谷部豊氏 第2部 仙台育成高等学校硬式野球部監督 須江航氏	2023/2/28	7
3月	東京	2023年度経営セミナー＆名刺交換交流会	第1部 NTT東日本サステナビリティ推進室 北川義和氏 第2部 NTT東日本東京事業部BI部 吉免宗一氏 第3部 林家たい平師匠	2023/3/3	12
合計					235

2. ICT活用推進事業について

【3】ICTに関する情報発信

ホームページ、メールマガジン、テレコムフォーラム誌等を活用し、ICTを事業発展に役立てた実例を紹介する等、会員及び情報通信サービス利用者にお役立ていただける情報発信を実施しました。

千葉支部のHPビュー数が前年3倍近く増加しました

	2020年度	2021年度	2022年度
千葉支部HP ビュー数	5,492	5,556	16,020
メールマガジン数	6,427	6,175	5,986

【4】標的型攻撃メール訓練サービス

会員の皆様を対象に「標的型攻撃メール予防訓練サービス」を無料(1会員10名様まで)提供しています。「セキュリティ対策」のはじめの一歩として、セキュリティへの意識を向上、対応力を高めていただくため、HPやメルマガ、DM等で案内を行っています。2022年度は3社(前年比2社減)がご利用されました。

	2020年度	2021年度	2022年度
標的型攻撃メール訓練	0社	5社 42ID	3社 30ID

【5】eラーニングサービス

会員の皆様を対象に「eラーニング」を無料(1会員20名様まで)提供しています。講座内容は、新入社員向けから若手・中堅社員向け、育成担当者向け、社員共通向け等、様々なコンテンツを用意、テストでの理解度チェックも可能です。会員企業の人材育成の一助としていただくためHPやメルマガ、DM等で案内を行っています。2022年度は18社(前年比11社増)がご利用されました。

	2020年度	2021年度	2022年度
Eラーニング	3社 7ID	7社 21ID	18社 142ID

3. 会員数状況等について

会員の維持・拡大に関しては、HPやメールマガジン、テレコムフォーラム等によるイベントニュースやICTの最新情報の発信、ICTセミナー等による新規入会希望事業所へのアプローチ、役員・会員企業様からの紹介、電話対応コンクール参加を契機とした勧奨等を行い22会員の入会がありました。
特に、千葉興業銀行様の新規入会ご支援により17会員の入会に繋げることができました。
一方で、経費削減等の経済事情などによる退会が83会員を数え、トータル61会員の純減となりました。

引続き、各施策を通した新規会員の拡大に取り組んでまいりますので、役員・会員企業様からの紹介等のご支援についてご理解、ご協力をお願い致します。

[会員数状況]

	地区協会	2019年度末	2020年度末	2021年度末	2022年度末(2023年3月末)			
					入会数	退会	前年増減比	合計
千葉	東地区	922	836	782	7	46	▲39	743
	西地区	586	523	475	15	37	▲22	453
	合計	1,508	1359 (▲149)	1,257 (▲102)	22	83	▲61	1,196

()内は前年増減比

自 2022年4月 1日
至 2023年3月31日
(単位:円)

【収入の部】

項目	①2022年度 予算額	②2022年度 決算額	②-① 差額	備考
事業収入(業務提携費等)	7,168,000	7,045,897	▲ 122,103	会報誌発行数減少
事業収入(その他収益)			0	
事業収入(家賃分)	487,800	487,800	0	
雑収入	16,020	5,685	▲ 10,335	
内部取引収入(地区→支部)	1,500,000	1,245,903	▲ 254,097	施策・行事縮小
事業収入(電話応対協議会収益)	2,992,000	2,992,000	0	
小計	12,163,820	11,777,285	▲ 386,535	
前年度繰越金	2,418,334	2,418,334	0	
A. 合計	14,582,154	14,195,619	▲ 386,535	—

【支出の部】

区分	項目	①2022年度 予算額	②2022年度 決算額	②-① 差額	備考
事業費	電話応対競技会費	4,262,000	3,339,402	▲ 922,598	規模縮小等による費用減
	セミナー費(ビジネス等)	670,825	809,144	138,319	地区協会研修を支部事業として実施
	セミナー費(ICT関連)	2,812,670	3,089,166	276,496	地区交流事業を支部事業として実施
	ネット情報提供費	804,000	804,000	0	
	委員会費(もしもし検定)	10,000	0	▲ 10,000	
	情報施設見学会費			0	
	組織強化費		80,077	80,077	
	情報誌出版費	2,603,000	2,385,706	▲ 217,294	会報誌発行部数減
	B. 小計	11,162,495	10,507,495	▲ 655,000	—
管理費	会議費	305,000	0	▲ 305,000	書面開催により会場費・交通費等減
	諸経費	1,978,000	1,363,175	▲ 614,825	人材派遣等稼働を内製化により費用減
	減価償却費	67,000	110,022	43,022	
	C. 小計	2,350,000	1,473,197	▲ 876,803	—
表彰費	表彰費	0	0	0	対象無
	D. 小計	0	0	0	—
内部取引	関東事業推進部上部費	0	0	0	
	法人税分担費	602,872	617,403	14,531	本部通知額
	消費税相当額	25,252	157,530	132,278	本部通知額
	その他	238,806	276,671	37,865	本部通知額
	E. 小計	866,930	1,051,604	184,674	—
F費用合計=B+C+D+E		14,379,425	13,032,296	▲ 1,347,129	
G繰越額=A-F		202,729	1,163,323	960,594	
当期経常増減額 (単年度の収支差額)		▲ 2,215,605	▲ 1,255,011	960,594	

2022年度会計監査報告書

公益財団法人日本電信電話ユーザ協会支部会則第10条4項に基づき、2022年度(2022年4月1日～2023年3月31日)の公益財団法人日本電信電話ユーザ協会千葉支部の財務状況について、出納簿・証拠書類・預金通帳・現金等を照合した結果、適正且つ正確であることを認めました。

また、業務についても適正に執行されていると認めましたので、本書をもってご報告いたします。

以上

2023年5月9日

支部監事

田中 豊彦

(茂原市長)

代理

鵜岡 隆之 

(茂原市役所 総務部 管財課長)

2023年5月8日

支部監事

小田山 博史

(柏商工会議所 会頭)

代理

高橋 直資 

(柏商工会議所 専務理事)

2023年度事業計画(案)について

- 日本電信電話ユーザ協会は、公益財団法人として2大事業である「テレコミュニケーション教育事業」及び「ICT活用推進事業」の普及拡大に向け、各種施策や会員サービスの充実等に取り組んでいます
- テレコミュニケーション教育事業については、より多くの方にご活用いただけるように広く事業紹介及び参加勧奨を行うとともに、事業内容の更なる充実に取り組みます
- また、ICT活用推進事業については、業務改革やコスト削減等の様々な課題解決に向けたDX導入や、不安定な世界情勢等を背景に対策が急務となっている情報セキュリティ等の最新技術のICT活用事例等のご紹介により、皆さまの課題解決にお役立ていただける情報発信を積極的に行って参ります

2022年度に引き続き、

- ・そもそもの周知・PR(もっと知ってもらおう活動)充実・強化⇒HP、メルマガ等情報発信や訪問活動を強化
- ・リモート・オンライン活用による効率的な事業運営を継続・強化

取組	具体的な取組み
1. テレコミュニケーション教育事業	電話対応コンクール、企業電話対応コンテスト、電話対応技能検定等を通じて、参加企業における電話対応品質の向上や参加者のスキルアップ等にお役立ていただけるよう更なる取組を推進します。 電話対応コンクールについては、本年1月のNHKでの番組放映を契機として、未参加企業、未参加事業所へ積極的な参加勧奨を行う等、参加拡大に取り組めます。 「新入社員研修」「ビジネスマナー研修」⇒「電話技能検定」⇒「電話対応コンクール」を一連の育成事業として捉え、育成サイクルの循環構築を目指します。 【1】電話対応コンクール 【参加者目標 150名】 ・研修や地区審査会は、より多くの方に参加いただけるようリモート方式により実施 ・県大会は会場で競技・審査を行うとともに、競技模様はライブ配信 ・過去参加企業等への勧奨実施 ・電コン未経験企業・団体へのDM・電話によるアプローチ ・電話対応コンクール県大会の委託化を推進 【2】電話技能検定(もしもし検)の受検機会確保 支部主催の受検の隔月開催継続(年間6回) 【3】ビジネスマナー等研修 ・フレッシュマン、ビジネスマナー、クレーム電話対応、リーダーシップ強化、職場を良くするコミュニケーション、アサーティブコミュニケーション、パットトーク等の各研修を研修を開催 ・フレッシュマン研修は集合形式で実施 ※商工会議所との共催・後援による開催検討
2. ICT活用推進事業	課題解決に向けたDXの導入や、不安定な世界情勢を背景に更に意識が高まっている最新の情報セキュリティ対策、コールセンタや企業の問い合わせ手段として活用されつつあるChatボット機能に使用されている最新技術「chatGPT」、近年はCSRとして各企業に求められている「SDGs」達成に向けた具体的な行動内容など、ICT活用推進セミナーの主要テーマとして提供していきます。 【1】全国各支部とのオンライン共催セミナー(相乗り) 全国各支部が実施するセミナーをオンラインにより提供 【2】新春講演会(第4四半期) ・著名人+ICTセミナー実施 【参加者目標 300名】 ・アーカイブ配信利用による視聴機会の確保・拡大 【3】商工会議所様等との連携(共催、後援)によるICTセミナー実施 ※旧地区講演会・セミナーとの連携

2023年度事業計画(案)について

取組み	具体的な取組み
3. 会員サービスの向上等	今後とも会員企業のご意見を積極的にお聞きし、会員満足度の向上を目指すとともに、ICTセミナー等に参加いただいた会員以外の方へも、当協会事業に対する認知度向上に向け、更なる情報提供やイベントへの参加勧奨等を積極的に行い、新規会員獲得活動を強化して参ります。 〔会員サービス〕 【1】協会特典(無料施策、無料セミナー等)の提供 標的型攻撃メール訓練サービス、eラーニングサービス、テレワーク導入支援、ビジネスマナー研修やICT・経営トップセミナーの無料施策提供 ※「eラーニングサービス」は根強い人気がある「新入社員及び若手社員向け」の自学自習コンテンツ等を充実 【2】ICT利活用促進のため最新情報発信 ・HPやメルマガ等を活用したタイムリーな情報発信を継続 ・毎月発行する「テレコムフォーラム誌」への案内資料同梱発送の継続 ⇒研修やイベントの参加募集案内、新規特典含めた会員特典の紹介案内 【3】会員交流施策等の企画・検討 ・スポーツ観戦等のイベント企画 〔新規会員勧奨〕 【1】協会役員、商工会議所、NTTグループ等との連携強化による新規会員獲得 ・会報誌等への協会PRチラシ同梱による訴求等 【2】あらゆる機会を捉えた協会役員様への紹介等のお願い
4. 円滑な協会運営	事業・行事運営の効率化にむけた等について協会自らがDX化実践 オンライン・リモート活用の定着化、非対面によるオペレーション、委託化は継続 【1】事業の効率化、省力化、DX化 ・オンライン・リモート活用による効率的な事業運営は継続 ・各種行事の業務委託化、人材派遣社員等活用 【2】会議運営 ・支部理事会の集合開催 ・地区協会統合後の大型化した東・西地区協会のコロナ禍以降の円滑な運営 「幹事理事会」は集合開催、「理事総会」は書面による決議を実施 ※今後は「幹事理事会」「理事総会」の一体開催も視野 【3】イベント等参加時の現金収納の廃止は継続(キャッシュレス化) 【4】旧地区協会毎に設けている年会費収納のための口座振替用口座は、新2地区の口座へ切替を行い、切替後は口座解約を実施。 口座解約手続きは、2023年度の口座振替処理後、実施(2023年5月以降)

2023年度事業計画(案)について

5. 年間スケジュール

[illegible]

■ 千葉県大会

- 1、開催日 2023年9月15日(金)
- 2、開催場所 mBAY POINT幕張(予定) 実施方法は別途
- 3、スケジュール 開会式・競技・表彰式
- 4、後 援 千葉県
株式会社千葉日報社
一般社団法人千葉県商工会議所連合会
千葉県商工会連合会
NTTドコモCS千葉支店
東日本電信電話株式会社千葉事業部
- 5、表 彰 優勝(1名)・準優勝(1名)・優秀賞(8名)・新人賞(1名) 計11名

■ 全国大会（第62回電話対応コンクール、第26回企業電話対応コンテスト成績発表会）

- 1、開催日 2023年10月20日(金)
- 2、開催場所 札幌文化芸術劇場 hitaru
(札幌市中央区北1条西1丁目)
- 3、スケジュール
開会式 9:30～ 競 技 10:10～
表彰式 17:00～ 懇親会 18:30～
- 4、後 援 総務省 日本商工会議所、全国商工会連合会
一般社団法人電気通信事業者協会
一般社団法人日本コールセンター協会
公益財団法人企業情報化協会
東日本電信電話株式会社
西日本電信電話株式会社
株式会社NTTドコモ
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社



2023年度収支予算(案)について

自 2023年4月 1日
至 2024年3月31日

(単位:円)

【収入の部】

項目	①2022年度 決算額	②2023年度 予算額	②-① 増減	備考
事業収入(業務提携費等)	7,045,897	7,140,881	94,984	
事業収入(その他収益)			0	
事業収入(家賃分)	487,800	487,800	0	
雑収入	5,685	5,685	0	
内部取引収入(地区→支部)	1,245,903	2,840,000	1,594,097	地区から支部への事業等移行に伴い支部運営費増
電話対応コール業務提携費用	2,992,000	2,839,000	▲ 153,000	本部業務提携予算減
小計	11,777,285	13,313,366	1,536,081	
前年度繰越金	2,418,334	1,163,323	1,255,011	
A. 合計	14,195,619	14,476,689	281,070	—

【支出の部】

区分	項目	①2022年度 決算額	②2023年度 予算額	②-① 差額	備考
	電話応対競技会費	3,339,402	3,827,932	488,530	集合競技会による委託費、会場費増
	セミナー費(ヒューマン等)	809,144	692,463	▲ 116,681	セミナー費用見直し
	セミナー費(ICT関連)	3,089,166	1,875,842	▲ 1,213,324	会員交流事業は組織強化費に配賦
	ネット情報提供費	804,000	732,000	▲ 72,000	
	委員会費(もしもし検定)	0		0	
	情報施設見学会費			0	
	組織強化費	80,077	531,881	451,804	会員交流イベント検討
	情報誌出版費	2,385,706	2,434,000	48,294	
	B. 小計	10,507,495	10,094,118	▲ 413,377	—
管理費	会 議 費	0	338,758	338,758	集合会議による会場費・交通費増
	諸 経 費	1,363,175	1,605,027	241,852	人材派遣社員・委託費増
	減価償却費	110,022	110,022	0	
	C. 小計	1,473,197	2,053,807	580,610	—
表彰費	表彰費	0	0	0	
	D. 小計	0	0	0	—
内部取引	関東事業推進部上部費	0	854,985	854,985	本部通知見込額(システム利用料等)
	法人税分担費	617,403	617,403	0	本部通知見込額
	消費税相当額	157,530	157,530	0	本部通知見込額
	その他	276,671	276,671	0	本部通知見込額
	E. 小計	1,051,604	1,906,589	854,985	—
F費用合計=B+C+D+E		13,032,296	14,054,514	1,022,218	
G繰越額=A-F		1,163,323	422,175	741,148	

2023年度支部役員等について

2023年5月(理事会)より2年間(2025年度理事会まで)

役職名	氏 名	事業所等名・役職等	地区協会役職等
支部長	青柳 俊一	株式会社千葉興業銀行取締役会長	本部理事 千葉東地区協会 会長
副支部長*	村岡 実	市川商工会議所 会頭	千葉西地区協会 会長
副支部長	松戸 徹	船橋市 市長	千葉西地区協会 副会長
理事	永島 克彦	千葉商工会議所 専務理事	千葉東地区協会 幹事理事兼会計監事
理事	小泉 一成	成田市 市長	千葉東地区協会 副会長
理事	茂木 佐平治	野田商工会議所 会頭	千葉西地区協会 副会長
理事*	待山 克典	松戸商工会議所 会頭	千葉西地区協会 副会長兼会計監事
理事*	池田 庸	木更津商工会議所 会頭	千葉東地区協会 副会長
理事	岡田 知益	銚子商工会議所 会頭	千葉東地区協会 副会長
監事	田中 豊彦	茂原市 市長	千葉東地区協会 副会長兼会計監事
監事	小田山 博史	柏商工会議所 会頭	千葉西地区協会 副会長兼会計監事

顧問	境 麻千子	東日本電信電話株式会社 執行役員 千葉事業部長 千葉支店長兼務	—
顧問	松木 裕人	東日本電信電話株式会社 千葉西支店長	—
顧問	斉藤 公明	東日本電信電話株式会社 千葉事業部 千葉支店副支店長 ビジネスイノベーション部長兼務	—
顧問	金田 利夫	株式会社ドコモCS 千葉支店長	—

注) *印は異動等により交代

注) 2020年度より委嘱依頼・委嘱状発行は依頼があった場合に対応するよう変更

(公財) 日本電信電話ユーザ協会千葉支部のご案内

公益財団法人 日本電信電話ユーザ協会は、テレコミュニケーション教育事業と I C T活用推進事業を行っている団体です。**現在、会員様を募集しています！**

会員の皆様には、コミュニケーションやビジネスマナー向上にむけた人材育成、I T・D Xや著名人講演会、電話対応の技術を競う電話対応コンクール等を会員特典として無料提供しています。会員の皆様の当協会のご利用は、主に社員教育の活用が中心ですが、自営・個人の皆様からは、著名人セミナーやeラーニングによるスキルアップ等でもご利用されています。現在、全国約4万の皆様にご加入いただいております。**是非、この機会にご入会のご検討をお願いいたします！**

ユーザ協会の事業のご案内

<http://www.chiba-user.com/>

ユーザ協会千葉

で検索

ご入会の検討材料に、無料特典をお試しになりたい方は、お気軽にご相談ください。無料でお試しいただけるよう手配いたします！

(※お試しのご利用は、参加人数・日程等は限りがありますので、都度ご相談させていただきます)

年会費：5,000円

※個人・法人問わずご入会頂けます

無料特典多数あり！

I
・お客様満足(CS)の向上を
・人材育成に活用を

●コミュニケーション・ビジネスマナー等研修

専門講師による基礎・応用のコミュニケーションやビジネスマナー研修を各種揃えています。社員のスキルアップ、CS向上にご活用いただけます。

【会員様は1研修5名様まで受講料**「無料」**】

・会員様以外1名5,000円(税込)～



会員様からの声

- ・他では1人約1万円の研修費が無料で参加できるので、社員育成に活用しています。
- ・電話対応、ビジネスマナー、接客、接遇など「新入社員・中堅社員」を毎年研修に参加させています。

●電話対応教育

県大会を勝ち抜くと、全国大会出場も！

電話対応コンクール千葉県大会を毎年実施しています。コンクール参加者には専門講師による指導が無料で受講できます。

【会員様は1事業所10名様まで参加**「無料」**】

・会員様以外1名5,000円(税込)・収録費5,000円程度



会員様からの声

- ・社員の電話対応スキルアップとして毎年参加させています。
- ・全国(他業種)からも多数参加し競い合う、こんな大会は他にはありません！

II
I C T活用でビジネス課題の解決を

●いつでもどこでも研修可能「eラーニング」

- ・社員教育に必要な“講座”を揃えています！
- ・企業研修のスタンダード「eラーニング」を是非！

【会員様は1事業所20名様まで**「無料」**】

●セキュリティ対策初めの一步「標的型攻撃メール予防訓練サービス」

【会員様は1事業所10メールアドレスまで**「無料」**】

●「各種講演会・セミナー」【会員様は参加**「無料」**】

- ・新春セミナー・講演会(著名人等をお招きして開催)
- ・I C Tセミナー(事業に活かすI T活用やセキュリティ対策等)



会員様からの声

- ・今話題のテレワーク導入支援等をテーマとしてセミナーが開催され、情報収集等に利用しています。著名人講師も交えたセミナーを毎年楽しみにしています。

●「I C T情報誌」を月間でお届けします 【会員様は**「無料」**】

▶毎月1回1日発行/14ページ・会員様以外「年間購読料3,565円」(税込・送料込)



公益財団法人日本電信電話ユーザ協会は「経営の加速につながる、電話応対教育とICT活用推進」事業に取り組んでいます。



当協会は、電話応対に関する質的改善と顧客満足度(CS)向上のため「ビジネスマナー研修」「電話応対技能検定」「電話応対コンクールの開催」や日々進化しているICTを企業経営に有効に生かしていただけるよう、時代のニーズに適合した最新のICT情報をお届けしています。今後も、これまで以上に、皆さまのお役に立てる事業を展開し、地域社会の発展に貢献できるよう努めてまいりますので、皆さまの更なるご支援をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

公益財団法人日本電信電話ユーザ協会 千葉支部長 青柳 俊一(株式会社千葉興業銀行取締役会長)

入会申込書

ご入会のお申込みはファクス又はメールもしくは郵送にてお願いいたします。

□ファクス送付先(03)5820-2078 □メール送付先 u-kyo.chiba@jtua.or.jp

入会申込年月日	令和 年 月 日
貴事業所名	
(フリガナ) 代表者役職・氏名	()
所在地	〒 -
事業所代表電話番号	() -
業種(事業内容)	
(フリガナ) 連絡責任者氏名等	所属 役職 氏名(フリガナ)
連絡責任者様のご連絡先	電話番号 () - ファクス () -
月刊情報誌(テレコムフォーラム (無料)のご送付希望 ※□に ☒ 印を記入	☐ 上記の代表者へ送付 ☐ 上記の連絡責任者へ送付 ☐ その他(以下にご記入ください) 所属 役職 氏名(フリガナ) ☐ 不要
メールマガジン(無料)のご配 信希望 ☒ ※□に ☐ 印を記入	☐ 希望する ☐ 全国版(月中旬1回) ☐ 千葉県版(月上旬1回) 【配信先メールアドレス】 @ /
今回 ☒ 会の動機・キッカケ等 ※□に ☐ 印を記入下さい。 複数回答可。	☐ 情報誌等の情報提供 ☐ セミナー・研修会等への参加 ☐ コンクール等各種競技会への参加 ☐ 取引先・NTT等の紹介 ご紹介事業所様・ご紹介者氏名

■プライバシーポリシー(プライバシーに関する公益財団法人日本電信電話ユーザ協会の確約)

公益財団法人日本電信電話ユーザ協会は、常日頃より会員企業様の情報を厳正に管理し、プライバシー保護に努めます。
また、会員企業(個人)様に関する個人情報等は、弊会の定款に基づく事業目的以外には、使用いたしません。

■日時 2023年5月17日(水) 11:00~12:00

■場所 ニューオータニ幕張

■内容 以下のとおり

第一号議案	2022年度事業活動報告について	承認(賛成9、反対0)
第二号議案	2022年度収支報告について	承認(賛成9、反対0)
第三号議案	2022年度会計監査報告について	承認(賛成9、反対0)
第四号議案	2023年度事業計画(案)について	承認(賛成9、反対0)
第五号議案	2023年度収支予算(案)について	承認(賛成9、反対0)
第六号議案	2023年度役員等について	承認(賛成9、反対0)

【結 果】 すべての議案について、全役員の賛成をもって承認

その他の連絡事項

全ての議案について、全役員の賛成をもって可決されました。

今後も引き続き、地域の皆様にとって役立つ公益財団法人として機能すべく
努力をいたしますので、役員皆様方の会員拡大、各種事業への参画等、更なる
ご支援、ご協力をお願いします。

※議案書・議事録は千葉支部ホームページに掲載

議事録署名人 千葉支部 事務局長 川口 泰久

